

和歌山県有床診療所協議会会員事務局より会員の皆様へ

2019. 6. 17

文責:辻 興

いつも当協議会運営に際しご支援を賜り有難う御座います。

別紙の通り、日本医師会より「令和元年（2019年）有床診療所の現状調査」への協力依頼が来ております。次回2020年度診療報酬改定における有床診療所点数引上げの根拠となるデータを、この現状調査によって日医総研の江口先生中心に作成下さるものと思われますので、是非会員の皆様の現状調査へのご協力をお願い申し上げます。

和県医発第379号

令和元年6月14日

和歌山県有床診療所協議会

会長 辻 興 殿

和歌山県医師会長

寺 下 浩



「令和元年（2019年）有床診療所の現状調査」ご協力をお願い

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記について、日本医師会長より別添のとおり協力依頼がありました。

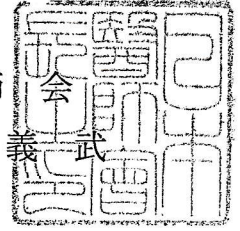
つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただきますとともに、貴会会員各位の協力方についてご高配下さいますようお願い申し上げます。

日~~誌~~発第 244 号 (総研 10 号)

令和元年 6 月 5 日

都道府県医師会長 殿

日 本 医 師
会 長 横 倉 義 武



「令和元年(2019年) 有床診療所の現状調査」 ご協力をお願い

謹啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、日本医師会の諸活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

地域住民が安心できる医療提供体制の構築において、有床診療所の病床は、今後の超高齢社会に向けて貴重な医療資源であります。地域包括ケアシステムの中で身近な入院施設として期待も高く、平成 30 年度診療報酬改定では介護を実施する有床診療所への評価も行われたところです。しかしながら、経営と人材確保に苦慮する有床診療所は数多く、対応が急務な状況です。

そこで、平成 21 年より 2 年おきに実施しております標記調査を、全国有床診療所連絡協議会の協力のもと、協議会会員の先生方を対象に実施させていただき、国へ示すエビデンスの構築を改めて行いたいと思います。貴医師会管内の有床診療所の先生方におかれましては、日々のご診療で極めてお忙しいところ誠に恐縮でございますが、6 月半ばにお手元に届きます本調査にご協力を賜りたく何卒よろしく申し上げます。なお、本調査のデータは、日本医師会総合政策研究機構（日医総研）が統計処理を行い、調査目的のみに使用し、医療機関の特定につながる形での公表は一切行わないことを申し添えます。ご高配賜りたく重ねてお願いを申し上げます。

謹白

【連絡先】：日本医師会総合政策研究機構 03-3942-6472 (江口成美)

「令和元年(2019年)有床診療所の現状調査」 概要と予定

【調査対象】 全国有床診療所連絡協議会会員 2,009 施設
(会員 2,422 のうちの病床稼働施設)

【調査内容】

- ①診療の状況、人材確保、継承に対する意識等(【1】施設票)
- ②前年度・前々年度の経営収支、前年度の入院費用分析(【2】財務票)
- ③入院患者の入院理由、入院前の場所、認知症、独居など(【3】患者票)

【今後の予定】 6月13日 調査票発送
7月10日 回答締め切り
9月 公表予定(日医総研ワーキングペーパー)

ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。
なお、調査票は文書管理システムで閲覧可能でございます。